

**平成29年度
インターネットサービス実施計画**

目 次

はじめに

基本方針

第1部 受信料を財源とするサービス

1. 受信料を財源とし、広く一般の視聴者に提供するサービス（2号受信料財源業務）

（1）国内放送関係

（2）国際放送関係

（3）試験的な提供について

（4）2号受信料財源業務の費用

2. 受信料を財源とし、事業者等へ提供するサービス（3号受信料財源業務）

（1）国内放送関係

（2）国際放送関係

（3）3号受信料財源業務の費用

第2部 有料で行うサービス

1. 利用料金を財源とし、一般の利用者向けに有料で提供するサービス（2号有料業務（NHKオンデマンド））

2. 有料で事業者等へ提供するサービス（3号有料業務）

3. 2号有料、3号有料業務の収支

第3部 実施状況に関する資料の作成および評価について

第4部 インターネット活用業務に関する競合事業者からの意見・苦情等への対応について

はじめに

この実施計画は、NHKのインターネット活用業務の実施基準（放送法第20条第2項第2号および第3号の業務の実施基準）に基づき、平成29年度に実施するNHKのインターネットサービスの内容を示すものです。

〔実施の期日〕平成29年4月3日（月）から実施

基本方針

NHKは、放送法の精神に則り、公共の福祉の実現に向けた価値を提供するという使命を担っています。NHKはこの使命を全うするため、公平・公正で正確な情報を伝え、広く日本や世界の課題に正面から向き合って、ジャーナリズムの役割を果たします。また、命と暮らしを守る防災・減災報道に全力で取り組みます。信頼される「情報の社会的基盤」として技術の発展に寄与しながら、健全な民主主義の発達や文化水準の向上に貢献します。

平成29年度は「信頼をより確かに、未来へつなぐ創造の力」を掲げた経営計画の3年目にあたります。NHKでは、公共放送が果たすべき役割に重点を置きつつ、経営計画に基づき、判断のよりどころとなる正確な報道と、豊かで質の高い多彩なコンテンツを充実すること、日本を世界に積極的に発信すること、新たな可能性を開く放送・サービスを創造することを目指します。

また、NHKのインターネット活用業務は、実施基準に則り、主要業務である放送を補完してその効用・効果を高め、国民共有の財

産という性格を持った放送番組等を広く国民に還元するなど、放送法第15条に掲げられたNHKの目的を達成するために実施するもので、受信料を財源とするサービスと有料で行うサービスがあります。

放送を基軸としながら、激しい環境の変化や技術の発展に適時・適切に対応して視聴者のニーズに応え、公共放送の役割を果たしていくためにも、経営計画に基づき、インターネットならではの特性を生かして、放送番組やその理解増進情報を提供し、よりわかりやすく利便性の高いサービスを目指します。より多くの人々が、様々な状況や環境下においてもいつでもどこでも利用できるサービスを提供するため、多様な伝送路を通じて情報を届け、提供時間に限りのある放送では提供しきれない多種多様な情報を配信していきます。

平成29年度、NHKは、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年（平成32年）における世界最高水準のサービス実現をめざし、放送を太い幹としつつ、放送だけでなくインターネットも積極的に活用して、より一層多様で意義のあるサービスの開発・実施に取り組んでいきます。

第1部 受信料を財源とするサービス

1. 受信料を財源とし、広く一般の視聴者に提供するサービス（2号受信料財源業務）

（1）国内放送関係

I. 放送番組における領域ごとの取り組み

放送番組と連動したインターネットサービスは、以下の6つの領域に沿って、提供していきます。

① ニュース（報道・解説）

公平・公正かつ正確・迅速なニュースの提供と人々の「命と暮らしを守る」情報の提供は、公共放送の使命です。

インターネットの利用拡大やスマートフォンの普及が急速に進む中、日本や世界の課題の共有化を図り、人々の判断のよりどころとなる多角的で正確な報道を行うことが求められています。信頼される情報をより早く、より多くの人にきめ細かく伝えるため、インターネットならではの技術を活用してホームページやアプリの展開を進めます。

人々の関心の高い気象情報から、いざというときに「命と暮らしを守る」防災・減災情報まで、気象・災害情報を「いつでも」「どこでも」入手できる取り組みを強化し、災害情報・避難所やライフライン等に関する理解増進情報も提供します。

また、災害時を含め、国民的関心の特に高いニュース等に関連する現場映像・音声等をリアルタイムで提供することがあります。

更に、国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報で、特に迅速に提供すべきものを伝える国内テレビの緊急ニュース等（全国放送ならびに地域放送）を、NHKオンライン等で、放送と同時に提

供することがあります。提供した緊急ニュース等の内容および提供時間は、実施の都度、NHKオンラインで公表します。

なお、平時において、災害時における放送中番組の提供に関連する訓練を行うことがあります。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHK NEWS WEB」ホームページ

「NHKオンライン」

「NHKニュース・防災」アプリ

- ・災害気象関連のサイト
- ・大きな被害が発生、または発生が想定される自然災害等を伝える放送のネット同時提供
- ・国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報で、特に迅速に提供すべきものを伝える放送のネット同時提供
- ・大規模な自然災害時のロボットカメラ映像・音声
- ・国民的関心の高い事件、事故、出来事等の現場映像・音声

② スポーツ

スポーツ番組やニュースを通じて視聴者が喜びや感動を共有し、人と人とのつながりを促進すること、幅広い種類のスポーツを伝え、スポーツ文化の発展ひいては文化水準の向上に寄与することもまた、公共放送の務めです。

そのため、NHKは、インターネットにおいてもスポーツコンテンツの充実に向けた取り組みを実施します。世界的なスポーツの祭典であるピョンチャンオリンピック・パラリンピック（オリンピック平成30年2月9日～25日、パラリンピック平成30年3月9日～18日）をはじめ、様々なスポーツイベントにおいて、スーパーハイビジョンとインターネットをつなぐ実験的な取り組みを推進

するとともに、試合や選手等の情報を解析して視覚的に表現することや、マルチカメラ映像を駆使するなど、東京オリンピック・パラリンピックに向け最先端の技術を積極的に導入することで、スポーツの魅力や迫力を多角的に伝えます。

また、スポーツのルールや選手のこれまでの活躍ぶりなどの情報を、多面的に掘り下げ、わかりやすく見ごたえのある理解増進情報を提供するとともに、東京オリンピック・パラリンピック関連の番組やイベント情報などを発信することで、2020年に向けた機運を盛り上げていきます。

更に、リアルタイムで放送しない競技・試合の映像・音声を、インターネットでリアルタイム提供するなど、いつでもどこでも、幅広いジャンルのスポーツに身近に親しんでもらえる環境をつくっていきます。

(主なコンテンツ、サービス)

「ピョンチャンオリンピック・パラリンピック」ホームページ

「NHKがインターネット配信の権利を有するスポーツイベント」
ホームページ

「NHKスポーツオンライン」

「NHKスポーツ」アプリ

③ 生活

人々の暮らしを支えるサービスとして、食・住・健康・趣味・育児等に関する生活・社会情報を通じて国民の疑問や関心に応えていくのもまた、公共放送の重要な役割であり、NHKは信頼できる情報を発信しながら、豊かで多彩なコンテンツの充実に努めます。

インターネットにおいても、食・住・健康・趣味・育児等の情報を伝える放送番組と連動して、視聴者のより深い番組理解につなげ、

視聴者の悩み・疑問に向き合う理解増進情報や動画を中心としたサービスを提供していきます。健康情報については、病名や症例から検索できるようその利便性を向上させるなどリニューアルを実施します。

また、若年層や社会の中堅層など幅広い層の視聴者の満足度を高めるため、生活の中で直面する課題や視聴者一人一人のニーズに合った利便性の高いサービスを提供していきます。

(主なコンテンツ、サービス)

「あさイチ」ホームページ

「きょうの料理」ホームページ

「ガールズクラフト」ホームページ

- ・ 動画を集めた新しいポータルサイト
- ・ 健康情報を扱うポータルサイト

④ 教育・科学・教養・福祉

NHKは、教育の観点からも文化水準の向上に寄与するため、生涯を通じて学びたいときに学べる、利便性の高い学習コンテンツを提供します。

また、科学や自然、生きものに対する興味・関心を促し、視聴者の知的好奇心に応えます。社会の様々な問題を掘り下げるとともに、優れた文化の保存ならびに新たな文化の育成・普及につながるサービスを行うことで、人々が教養を育むことに貢献します。同時に、多様性を認め、共に生きる社会を実現するため福祉の分野におけるコンテンツの充実を図っていきます。こうしたサービスを充実させることも公共放送の使命です。

a. 青少年・教育

オンライン化が進む教育分野で公共放送らしいサービスを展開します。インターネットの普及による学校教育現場の学習モデルの変化にも適切に対応するため、学校放送コンテンツや、幼児・青少年向けコンテンツの一層の充実に取り組み、放送と連動し、視聴者の“知りたい”“学びたい”に応えます。

特に学校放送番組を提供している「NHK for School」では、小中学校に配備されるタブレットでの利用などを想定したアプリの充実など、子どもたちにとって更に使いやすいサービスを目指すとともに、教育現場のICT化をサポートしていきます。

また、ユーザーの継続的・体系的学習に向けて、放送済みの番組に加え、放送前の教育番組を紹介するサービスなどの理解増進情報を提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHK for School」ポータルサイト

「NHK for School」アプリ

「NHKゴガク」ポータルサイト

「NHKゴガク」アプリ

「キッズワールド」ポータルサイト

「NHK全国学校音楽コンクール」ホームページ

「オトッペ」アプリ

「アニメワールド」ポータルサイト

b. 科学・自然

科学や自然、生きものに対する興味・関心を促し、学ぶ、楽しむといった視聴者の知的好奇心に応えるサービスとして、大自然や宇宙、古代遺跡などの高画質映像・静止画、CG映像、バーチャルリ

アリティなどを活用しながら、視聴者のより深い番組理解につながる理解増進情報を提供します。

また、過去の放送済み番組や映像記録のうち、視聴者のニーズが高いコンテンツの一部を動画で配信するなど、これまでに取材・制作の過程で蓄積してきた映像等を展開します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ダーウィンが来た！ 生きもの新伝説」ホームページ

「ガッテン！」ホームページ

「NHKロボコン」ホームページ

c. 教養・福祉

視聴者のより深い理解につながるコンテンツや、幅広い分野への興味・関心を促し、個々の視聴者の教養を深めるようなコンテンツの提供に努めます。

福祉の分野においては、手話ニュースの動画提供や在日外国人にもわかりやすい日本語で情報を伝えるなど、多様性を認め、共に生きる社会を実現するためのサービスを実施します。他者への理解を深めることを通じて様々な人にとって生きやすい環境を整えるようにします。

また、障害者スポーツのさらなる理解・促進を目指すコンテンツや、高齢者や障害者などが直面する社会的な課題に対して、幅広い視聴者により身近なこととして理解してもらおうサービスや、支援を必要とする人々の生活や災害時の避難に役立つ情報等の理解増進情報を提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「プロフェッショナル 仕事の流儀」ホームページ

「プロフェッショナル 仕事の流儀」アプリ

「日曜美術館」ホームページ

「にっぽん縦断 ころろ旅」ホームページ

「ハートネットTV」ホームページ

「NHK手話ニュース」ホームページ

「ソーシャルグッド・プロジェクト」ホームページ

⑤ 娯楽

ドラマ、エンターテインメント番組等をバランスよく編成することで、視聴者の感性を刺激し、感受性を育むことや、古典芸能等の伝統文化の保護・育成に貢献することで、国民の文化的生活を豊かなものにするのも公共放送の重要な役目です。

インターネットサービスにおいては、放送番組と同時に楽しめる情報を放送と同時に提供するほか、番組の登場人物や出演者情報等の理解増進情報を提供していきます。

a. ドラマ・映画

(主なコンテンツ、サービス)

「連続テレビ小説」ホームページ

「大河ドラマ」ホームページ

「大河ファンタジー 精霊の守り人」ホームページ

「NHKドラマ」ポータルサイト

「海外ドラマ」ポータルサイト

「BSオンライン・プレミアムシネマ」ホームページ

b. エンターテインメント・音楽伝統芸能

(主なコンテンツ、サービス)

「L I F E ! 人生に捧げるコント」ホームページ

「ブラタモリ」ホームページ

「シブヤノオト」ホームページ

「にっぽんの芸能」ホームページ

「プレミアムシアター」ホームページ

⑥ 大型企画

国民的関心が高いニュースや社会問題等、社会的意義の高いテーマについては、「NHKスペシャル」等と連動し、大型企画として豊かで多彩なコンテンツを展開します。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向け日本がどう変わっていくのか、その変化をバーチャルリアリティや音声認識、GPSなどの機能を使って表現するコンテンツや、自然や生命の知られざる神秘に迫る大型シリーズと連動したコンテンツなど、番組内容を解説・補足する理解増進情報を提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKスペシャル」ホームページ

「クローズアップ現代+」ホームページ

「明日へ つなげよう」ホームページ

II. 複数のジャンルやコンテンツにまたがる取り組み

NHKはインターネットを積極的に活用して、より多くの人々に、多様な伝送路で公共性の高い情報や番組などのコンテンツを届けるため、複数のジャンルやコンテンツにまたがる以下のようなインタ

ーネットサービスを提供していきます。

① インターネットによる番組の周知・広報

番組放送日時や視聴者のより深い番組理解につながる情報の提供など、インターネットの特性を生かして放送番組の周知・広報につながるサービスを実施します。

サービスの多様化が進む中で、多くのコンテンツの中から視聴者が知りたい情報に容易にたどりつけるよう、デザインの統一をはじめ、ジャンルごとにわかりやすく分類したり、サイト間の連携を高めたりなど、サービスをより親しみやすく、身近で使いやすいものにするよう努めます。

NHKオンラインのトップページおよびその他のホームページに加え、ソーシャルメディアを積極的に活用していくとともに、PR目的での放送番組の動画提供なども通じて、人々のNHKサービスへの興味・関心を促し、より多くの人々にサービスを知ってもらえるような取り組みを進めます。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKオンライン」

「NHK_P R」ホームページ

・放送番組の公式SNS等

・連続テレビ小説等のドラマコンテンツの動画提供

② ラジオのインターネットサービスの提供

ラジオ第1放送、ラジオ第2放送およびFM放送の放送中番組を

提供する「らじる★らじる」のサービスと、番組のオンデマンド配信やポッドキャストのサービスを提供します。

また、「らじる★らじる」による地域放送の同時提供サービスを充実します。地域の災害情報や身近な生活情報などの地域情報をインターネットでも提供して、災害時等にラジオを利用できない人や、他の地域からでも地域情報等を取得したい人も含め、より多くの人々がいつでもどこでも利用できるサービスの提供に努めます。

(主なコンテンツ、サービス)

「らじる★らじる」(音声波の放送中番組の同時提供)

- ・「ニュース」、「高校講座」、「語学講座」等のオンデマンド配信サービス

③ インターネットによるアーカイブスの提供

NHKが保存しているニュースや番組等の映像・音声記録のうち、特に社会的意義が高いものについてインターネットで公開し、視聴者への還元を行います。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKアーカイブス」ポータルサイト

「戦争・戦後史証言アーカイブス」ホームページ

「東日本大震災アーカイブス」ホームページ

④ 通信と連携したテレビ向けサービスの充実

a. ハイブリッドキャストでは、24時間いつでも見られる暮らしに役立つコンテンツを充実するとともに、映像波の定時番組や、特集、

スポーツ中継等で、早戻しサービスやハイライト動画など、インターネットの新技术を活用したハイブリッドキャストならではのサービスを提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ニュース」、「そなえる防災」、「おはなしのくに」、「あさイチ」、「しごとの基礎英語」、「世界ふれあい街歩き」、「大河ドラマ」、「連続テレビ小説」

b. 地上・BSのデータ放送を入り口としたインターネット接続サービスでは、引き続き双方向番組等を展開し、ネット時代のテレビ受信機向けサービスの可能性を追求します。

(主なコンテンツ、サービス)

「あさイチ」

「天才てれびくんYOU」

「ビットワールド」

⑤ 地域放送局のインターネットサービス

全国の放送局は、地域の「安全・安心の拠点」として、いざというときに防災・減災のための情報やライフライン情報などを、インターネットでも正確・迅速に伝えます。

また、全国各地の放送済みのニュース動画の一部をインターネットで提供するなど、引き続き地域の情報発信に取り組むとともに、地域発ドラマなど地域の魅力を全国に伝える理解増進情報を発信していきます。

(主なコンテンツ、サービス)

「首都圏」ホームページ

「各地域放送局」ホームページ

「各地のニュース」ホームページ

「地域発ドラマ」ホームページ

(2) 国際放送関係

I. 放送番組における取り組み

① 「NHKワールド・オンライン」ホームページの充実

人や情報の国境を越えた交流が加速し、国際化が飛躍的に進む中、NHKは「信頼される公共放送」として、世界に向けて多彩なサービスを積極的に発信し、国際社会と日本との相互理解に寄与していきます。

「NHKワールド・オンライン」ホームページを訪問する利用者の関心に応じて、政治、経済、社会、文化など、様々な分野でコンテンツを提供し、目的に応じた入り口となるポータルサイトを拡充して、日本と世界をつなぐよう努めます。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKワールド・オンライン」ホームページ (18言語)

「やさしい日本語」ホームページ (17言語)

「Japanese Food」ポータルサイト

「Travel」ポータルサイト

II. 放送同時提供とオンデマンド提供

① 「NHKワールドTV」の放送同時提供とオンデマンド提供

NHKでは、ニュースのほか、日本の文化や経済・産業などの事情を紹介する幅広いジャンルの英語の放送番組を、インターネットならではの技術を活用して配信し、平成29年度も「見たくなる国際放送」を目指していきます。

「NHKワールドTV」は、放送と同時にインターネットで提供するとともに、放送済み番組から30番組程度を「見逃しサービス」としてビデオ・オン・デマンド(VOD)で提供し、海外の利用者がNHKワールドのコンテンツに接触する機会の増加を図ります。

(主なコンテンツ、サービス)

「NHKワールドTV」放送同時提供

「NHKワールドTV」オンデマンド提供

「NHKワールドTV」視聴アプリ

② 「ラジオ日本」の放送同時提供とオンデマンド提供

日本を世界に、積極的に発信していくため、インターネットを通じて、いつでもどこでも利用できるよう、ラジオ国際放送の多言語コンテンツを幅広く展開していきます。「NHKワールド・ラジオ日本」では、「ニュース」等を18言語によりインターネットで放送と同時提供するとともに、オンデマンドでも番組を提供します。

(主なコンテンツ、サービス)

「ラジオ日本」放送同時提供

「ラジオ日本」オンデマンド提供

「ラジオ日本」聴取アプリ

(3) 試験的な提供について

放送を補完する観点から、国内テレビジョン放送（総合テレビジョン、教育テレビジョン）の放送と同時に提供するサービスの改善・向上の検討に資するために、試験的な提供を実施します。

試験的な提供は、国内テレビジョン放送（総合テレビジョン、教育テレビジョン）で放送する番組について、実施基準に則して実施します。

提供にあたっては、事前に実施日時（期間）、提供内容、費用等を含む試験計画を作成し、公表します。

また、試験的な提供が終了する都度、提供した番組とその提供時間を公表し、試験結果については、終了後にNHKオンラインで公表します。

(4) 2号受信料財源業務の費用

2号受信料財源業務の費用は、受信料収入の2.0%にあたる140億円です。内訳は、物件費が99億円、人件費が37億円、減価償却費が3億円で、物件費のうち、国内放送関係は78億円、国際放送関係は21億円です。

国内放送関係の78億円の内訳は、番組ホームページの制作・更新、ピョンチャンオリンピック・パラリンピック関連、アプリや新サービスの開発、ハイブリッドキャストコンテンツの制作など、コンテンツ関連が60億円、サーバー・ネットワークの構築や制作システムの整備などインフラ関連が17億円です。

国際放送関係の21億円の内訳は、コンテンツ関連が14億円、インフラ関連が6億円です。

※「(3) 試験的な提供」の費用は、2.9億円で、国内放送関係に含まれます。

2. 受信料を財源とし、事業者等へ提供するサービス（3号受信料財源業務）

（1）国内放送関係

I. 国内事業者への提供

多数の国民の生命・財産に切迫した危機があると考えられる大規模災害時等において、他のインターネット事業者からの申し出に基づきNHKが放送する緊急ニュースを、当該事業者が放送と同時に提供することを認める場合があります。また、公共放送として特に意義のある過去番組等について、他の事業者に提供する場合があります。

（主なコンテンツ、サービス）

- ・災害時等における事業者等への情報提供・同時配信
- ・「平和アーカイブス」関連番組の提供（一部）

（2）国際放送関係

I. 受信環境整備としての海外事業者への提供

NHKの国際放送について、より多くの海外の視聴者に接触していただけるようにする施策の一環として、動画や音声の放送同時提供やオンデマンド提供を行う海外の事業者に国際放送番組を提供することがあります。

（3）3号受信料財源業務の費用

これらの業務の費用は0.1億円を想定しています。

第2部 有料で行うサービス

1. 利用料金を財源とし、一般の利用者向けに有料で提供するサービス（2号有料業務（NHKオンデマンド））

（1）NHKオンデマンドサービス

NHKが国内で放送した番組およびその理解増進につながる情報などを、一般の利用者向けに提供する会員制有料動画配信サービスです。NHKが直接サービスを提供する「直接提供型」と、外部のプラットフォーム事業者を通じてサービスを提供する「プラットフォーム経由型」の2種類があります。

平成29年度も引き続き、国民共有の財産という性格を持った放送番組等を広く国民に還元するために、コンテンツの充実や利便性の向上、利用者の拡充を目指してサービスの向上に取り組めます。

I. サービスの種類

① 見逃し番組サービス

「大河ドラマ」「連続テレビ小説」や「NHKスペシャル」、「NHKニュース7」、スポーツ中継番組など、NHKで放送している人気番組等を、放送から1～3週間程度のあらかじめ定めた期間、提供します。

② 過去番組サービス（特選ライブラリー）

名作ドラマや大型ドキュメンタリー番組など、見逃し番組サービスでの提供期間を過ぎた過去の放送番組等を一定期間または期間を定めずに提供します。

II. 契約種別

① 単品等

放送番組等の中から、その都度課金して利用可能とするものです。

②見放題パック

個々の放送番組等の入れ替わりがあることを前提とした特定範囲の複数本の放送番組等を一括対象とし、一定期間、利用可能とするものです。

2. 有料で事業者等へ提供するサービス（3号有料業務）

（1）ビデオ・オン・デマンド（VOD）事業者への番組提供

NHKが国内で放送した番組などを、ビデオ・オン・デマンド（VOD）事業を行っている対象事業者から求めがあった場合、公共放送への信頼を損なわないことを前提に、「放送番組等有料配信業務勘定」の健全な収支や2号有料業務との関係などを総合的に考慮して、有料で提供します。

3. 2号有料、3号有料業務の収支

2号有料業務および3号有料業務は、区分経理の対象であり、「放送番組等有料配信業務勘定」として計理されます。

「放送番組等有料配信業務勘定」の予算では、事業収入は22億円、事業支出は22億円で、事業収支差金は0.1億円です。そのうち、3号有料業務に係る事業収入および事業支出は、共に2億円です。

第3部 実施状況に関する資料の作成および評価について

この実施計画に記載した業務の実施状況については、年度終了後に、収支を含めた実施結果を作成し公表します。

また、技術の発達、需要の動向、市場競争への影響、受信料の公平負担との関係その他の事項を勘案して、多角的な評価を行い、サービスの充実、改善に取り組みます。

実施計画は必要に応じて、年度途中に変更することがあります。

第4部 インターネット活用業務に関する競合事業者からの意見・苦情等への対応について

この実施計画に基づき実施するインターネット活用業務の遂行状況について、同種のサービスを行う事業者または外部事業者からご意見、苦情等が寄せられたときには、実施基準に基づいて、外部委員からなる「インターネット活用業務 審査・評価委員会」に対応案の妥当性について検討を求め、その意見を尊重して、必要な措置を講じます。

なお、実施基準では、「市場競争への影響も考慮要素とする」とこととされており、実施計画の策定にあたっては、「インターネット活用業務 審査・評価委員会」から、市場への影響等を中心に、適切性の観点からの見解を受けています。この見解を踏まえ、適切に業務を行っていきます。

平成29年度、NHKは創造性と一層の効率的運営を追求しつつ、公共放送として、どのような公共性を有するサービスを人々に提供すべきかに留意しながら、実施計画に則って適切にインターネット活用業務を実施していきます。